

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会

2023春季生活闘争勝利

総決起集会を開催！



3月2日(木) 東京・田町交通ビルにおいて開催され、JR連合と共に関東地区本部組合員が参加しました。

主催者代表挨拶では、住野儀長(私鉄総連)より『公共料金値上げや燃料費の高騰により、働く者の生活は厳しくなっており、2023春闘では月例賃金の底上げと改善を強く求めていく。2024年問題は交通・運輸労働者にとって喫緊の課題であり、交運労協としてヒアリングをしていく。持続可能な交通・物流をどう構築していくのか、地域の交通・鉄道・バス・タクシーのあり方について国会においても審議は必要である。交通運輸労働者が誇りと希望の持てる労働環境と、若者と女性の働く環境の向上を目指していく。そのために2023春闘への組合員の期待は大きく、交運労協60万名の力を結集して春闘を取り組もう』と力強く述べられました。

続いて、連合清水事務局長より激励の挨拶があり「組合員の努力によりコロナを乗り越えつつある。今春闘はコロナ渦で努力してきた労働者への投資も含め経営側にぶつけていこう。運輸産業では、来年4月から時間外労働時間の上限規制が適用されるが、国民生活や経済活動に不可欠な物資が運べなくなるという物流クライシスへの対応をしていかねばならない。これら人材確保の課題解決のためには、若者に対して魅力ある賃金・労働条件を確立することが必至である。連合760万名の力を結集して春闘に取り組もう」と述べられました。

その後、慶島事務局長(JR連合)より「当面する政策課題」の報告がされ、構成組織(運輸労連)(サービス連合)(自治労・都市交評)(全自交労連)より春闘に取り組む決意表明がされました。

その後、蒔田事務局次長(運輸労連)より集会宣言(案)が提起され、最後に住野儀長による「団結がんばろう」で集会を終えました。